

1. 「まちづくりの目標1」の個別項目について

政策分野	指摘事項	対 応
<p>1. 子育て (P9)</p>	<p>① ここでの対象となる子どもの年齢について定義した方が良いのでは。ヤングケアラーなどの問題もあるため、乳幼児期から青年期まで切れ目のない支援は重要。</p> <p>② 外国籍や発達などの課題についても記載すべきでは。</p> <p>③ 児童虐待件数を指標化することも検討してはどうか。</p> <p>④ 子ども医療費の拡充はどこに位置付けられるのか。</p> <p>⑤ 市民意識調査において、公園などの子どもの遊び場のニーズが高かったことについても触れるべきではないか。</p>	<p>① 「子育て」については、妊娠期から未成年（18歳未満）までの幅広い範囲で、切れ目のない支援が必要という観点から記載しています。（年齢の定義は記載しません）</p> <p>② 施策2「困難を抱える子どもや家庭に対する支援体制の充実」の対象になるものと考えています。</p> <p>③ 適切な進捗管理の観点から、虐待件数そのものを指標化することは困難と考えています。</p> <p>④ 施策1に「経済的負担の軽減」について記載しています。</p> <p>⑤ 政策分野20「公園・緑地」に記載しています。</p>
<p>3. 学校教育 (P13)</p>	<p>① 今後、部活動については、地域のスポーツとの連携も含めて見直しを図ると聞いている。今後の部活動に関する視点も含めるべきでは。</p> <p>② 「地域とともにある学校づくりの推進」における地域とはどの範囲を指すのか。</p>	<p>① 部活動については、施策3「地域と共にある学校づくりの推進」の一環で検討を進めるものと考えています。</p> <p>② コミュニティスクールの対象である中学校区を意図したものです。</p>

<p>4. 教育環境 (P15)</p>	<p>① ICT教育について、機器や備品の整備も必要だが、教員側のアップデートに係る視点も含めるべきでは。 ② 保護者や先生が課題を相談できる仕組みが求められているため、相談機能の充実についても記載すべきでは。</p>	<p>① 施策1の4点目「ICT教育」において、効果的な活用について追記しました（教員の技能向上も含む）。 ② 政策分野3「学校教育」の施策2に記載しています。</p>
<p>(青少年育成)</p>	<p>① 放課後児童会について、共稼ぎ世帯が利用するものであり、女性のキャリアの観点からも重要であるため、SDGsの「5. ジェンダー平等を実現しよう」も位置付けるべきでは。 ② 民間が実施しているこどもの居場所づくり、子ども食堂といった取組みとの連携も記載すべきでは。</p>	<p>※放課後児童会施策については、政策分野の目的を踏まえ、政策分野1「子育て」に移動しました。 ① 趣旨を踏まえ位置付けました。 ② 趣旨を踏まえ施策1に追記しました。</p>

2. 「まちづくりの目標2」の個別項目について

政策分野	指摘事項	対応
5. 地域福祉 (P17)	① 「3. 自分らしい暮らしを支える仕組みづくり」について、人材の育成についても記載すべきでは。	① 本施策と関係が深い「高齢者福祉」や「障がい福祉」において、個々のサービス提供体制の整備や人材確保・育成について記載しています。
6. 高齢者福祉 (P19)	① 「5. 高齢者の生きがいづくり支援」について、フレイル予防などにも役立っているため、「老人クラブ活動」に限定しなくても良いのでは。	① 限定するものではないため表現を見直しました。
7. 障がい福祉 (P21)	① 「3. 障がい児福祉の充実」について、「就学前」と限定する必要は無いのでは。継続的に支援する必要があるのではないか。	① 限定するものではないため表現を見直しました。
9. 生涯学習 (P25)	① 「1. スポーツ・文化活動の推進」について、拡充や拡大を図るという表現が見られるが、プラスの内容だけではなく、減少を抑えるという表現があっても良いのでは。	① 施策の趣旨として拡大と記載していますが、事業を進めるにあたり、減少を抑える視点も入るものと考えています。
10. 人権・多文化共生 (P27)	① 「3. 男女共同参画社会の推進」について、相談体制の充実についても記載すべきでは。 ② 事業名が列挙されているが、もっと広い視野に立って取り組んでいく必要があるのではないか。	① 趣旨を踏まえ表現を見直しました。 ② 趣旨を踏まえ表現を見直しました。

3. 「まちづくりの目標3」の個別項目について

政策分野	指摘事項	対 応
11. 防災・減災 (P29)	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 食糧・資材の備蓄について、計画的な備蓄だけでなく、情報発信の記載を含めてはどうか。どこに、何が、どれくらい備蓄されているのか分からない。</li> <li>② 指標として「備蓄率、防災体制、施設に対する確認、体制チェック、防災システム」を設定してはどうか。</li> <li>③ 政策分野「防災」に「減災」を含め、「防災・減災」にしてはどうか</li> <li>④ 交野市では、災害の種類として洪水、土砂崩れ、内水氾濫が想定される。内水氾濫は下水道が関係するため、下水道と河川の両方で対応が必要、都市基盤整備の分野で記載するか確認が必要。</li> <li>⑤ 大災害に対応するため、他市との連携体制を記載してはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 趣旨を踏まえ所管部署に検討を依頼します。</li> <li>② 指標については、所管部署と調整のうえ、施策に対応するものを設定しました。</li> <li>③ 政策分野等の表現を見直しました。</li> <li>④ 施策2の表現を見直しました。</li> <li>⑤ 政策分野12「消防・救急」の施策3に記載しています。</li> </ul>
12. 消防・救急 (P31)	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 消防体制は人材不足であるため、「継続的な人材育成」の記述箇所に「人材確保」を明確に記載してはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 職員の確保は全庁的な人事管理(定員管理)に係るため、個別政策分野では特段の記載は行いません。</li> </ul>

<p>13. 暮らしの安全・安心 (P33)</p>	<p>① 交通安全について、通学路の安全確保を入れた方が良いのではないかと。 ② 防犯灯や防犯カメラの更新という要素も重要であるため検討してもらいたい。</p>	<p>① 政策分野4「教育環境」の施策3に記載しています。 ② 趣旨を踏まえ表現を追加しました。</p>
<p>15. コミュニティ・市民活動 (P35)</p>	<p>① 地域の高齢化等により、市民活動が地域社会で様々な役割を持って協力していくことが重要と思う。地域における役割強化について記載してはどうか。 ② 「コミュニティ制度」の記述箇所、「地域活動や支援、連携等」の記載があるが、表現が漠然としているため、もう少し具体的な記載内容を検討してはどうか。</p>	<p>① 現在も市民活動支援の中で、地域の課題解決に対する事業への補助を行っており、今後も相互の連携・協力を踏まえながら取組みを進めます。 ② 趣旨を踏まえ表現を見直しました。</p>

4. 「まちづくりの目標4」の個別項目について

政策分野	指摘事項	対 応
<p>16. 都市空間・住環境 (P37)</p>	<p>① 政策分野は「都市空間」で、内容には「都市環境」の用語が出ている。「都市空間」としている意図を教えてください。</p> <p>② 住宅取得支援に関して、子育て世代への支援は理解できるが、少子化対策としては疑問がある。出産・育児に直結する訳ではなく、記載も唐突で取って付けた印象がある。</p> <p>③ 住宅施策では、若い世代に対して住宅への選択肢を増やしていく視点が必要ではないか。賃貸住宅も視野に入れ、賃貸補助の施策を入れられるのではないか。</p>	<p>① 「都市環境」に表現を揃えました。</p> <p>② 趣旨を踏まえ表現を見直しました。</p> <p>③ 今年度より住宅取得支援制度を拡充したところであり、多くの申請・問い合わせを受けている状況です。指摘事項については、今後の参考とします。</p>
<p>17. 産業振興・労働 (P39)</p>	<p>① 山手エリアではバスの停留所に行くのも大変であり、車がないと生活できない。背景に「買い物弱者」の問題についての記載を含めてはどうか。</p> <p>② 産業や観光で「広域調整」という視点を記載に入れてはどうか。</p> <p>③ 「カタノのチカラ」のPRに加えて、販売する「場」が必要ではないか。</p> <p>④ 高齢者や女性の就労機会や確保について記載できないか。</p>	<p>① 政策分野5「地域福祉」の施策3に記載しています。</p> <p>② 「経営方針」において広域連携の検討を記載しています。施策事業の趣旨に依りて検討が進むと考えています。(観光については枚方市と連携実績あり)</p> <p>③ 現時点では、新たな公共施設を整備する予定はありませんが、地域活性化の機能確保について検討を進めます。</p> <p>④ 指摘事項の趣旨については、施策2の中で表現できていると考えています。</p>

<p>18. 観光・魅力発信 (P41)</p>	<p>① 観光客を呼び込むためには、トイレや休憩場所の整備など受入れ体制の視点が必要ではないか。</p> <p>② 観光による地域経済活性化とあるが、特産品の販売所(道の駅)を設置する等を記載できないか。</p> <p>③ 地下水を水道水として使用する過程で、染料のベンガラの方ができる。本市の観光資源にできないか。</p>	<p>① 新たなハード整備は困難と考えられますが、趣旨を踏まえ所管部署と共有します。</p> <p>② 現時点では、新たな公共施設を整備する予定はありませんが、地域活性化の機能確保について検討を進めます。(再掲)</p> <p>③ 地域活性化のアイデアとして所管部署と共有します。</p>
<p>20. 道路・公共交通 (P45)</p>	<p>① 「公共交通」の記載内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「公共交通」で、記載されている施策は1・2年スパンのものばかりである。今後、市内の公共交通ネットワークをどう作っていくのかという視点を入れてもらいたい。</li> <li>✓ 市街地を網羅していると記載があるが、交通難民が発生している。バスのルートと時間が生活に合っていないため、計画的に対応してもらいたい。</li> <li>✓ 公共交通がどこを目指しているのかわかりにくい。利用促進するということは、市内移動を公共交通でしていく方向を目指しているのか。現在の文章では、公共交通の経営が厳しいため利用するという視点で読める。</li> </ul> <p>② 指標の「安全で快適な道路環境」は、歩行者の視点か、車(運転者)の視点かわかり難い。</p> <p>③ 指標を「公共交通で快適に移動できると思う市民の割合」にしてはどうか。</p>	<p>① 公共交通については、指摘事項を踏まえ、全体的に記載内容を見直しました。</p> <p>② 歩行者と車(運転者)のどちらの視点も含むものです。</p> <p>③ 趣旨を踏まえ新たな指標として追加しました。</p>

<p>21. 公園・緑地 (P47)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 公園施設の「充実」だけでなく、既存施設を子供の遊び場にするなど、「確保」の視点を持ってほしい。</li> <li>② 緑地と公園を分ける理由を確認してほしい。</li> <li>③ 天野川など、川を含めた緑地という視点があれば、交野らしさが生きてくると思う。河川は「防災」に入れているが、川と周辺の一體的なまちづくり（親水空間）という視点で、公園緑地に入れるかどうか検討してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 「充実」という表現の中に、新たな遊び場の確保の視点も含むものです。</li> <li>② 公園は休息・鑑賞・レクリエーション・遊戯等の機能を、緑地は環境保全・公害緩和・災害防止・景観保全等の機能をもつ施設と整理しています。</li> <li>③ 一級河川である天野川は大阪府所管となりますが、趣旨を踏まえ連携しながら取り組んでいきます。（市が管理する準用河川は護岸のみであるため、親水空間としての活用・整備は困難です。）</li> </ul>
<p>22. 上水道・下水道 (P49)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 安全でおいしい水は交野の魅力である。魅力をさらに活かすという表現を入れてはどうか。</li> <li>② 断水もあったため、施設の更新を入れてはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 趣旨を踏まえ、背景に追加しました。また、おいしい水も政策分野 17「観光・魅力発信」の対象となるものと考えています。</li> <li>② 趣旨を踏まえ文言を追記しました。また、政策分野 11「防災・減災」の施策 2 に記載しています。</li> </ul>

5. 「まちづくりの目標5」の個別項目について

政策分野	指摘事項	対 応
23. 脱炭素・循環型社会 (P51)	① 指標について、二酸化炭素排出量やリサイクルなど、定量的な目標があると思うため、具体的に記載してはどうか。	① 趣旨を踏まえ指標を設定しました。
24. 自然共生・生活環境 (P53)	① 指標「生物多様性に配慮して生活」は、回答に困るのではないか。また、「衛生的で快適な生活環境」は街中を指すのか。 ② 施策にある「狂犬病・ペット」について、背景に記載が必要ではないか。 ③ 自然環境の保全で、「地域住民と関係団体等と連携」とあるが、ここに「人材育成・確保」の視点を入れてはどうか。 ④ 次世代に継承していく観点から、子どもたちを含めた人材育成（教育）や確保の視点が必要ではないか。	① 趣旨を踏まえ指標を設定しました。 ② 狂犬病等については、法に基づく定型的な業務であるため、施策から削除しました。 ③ 人材育成については、施策の2点目にある幅広い世代を対象とした環境教育に取り組んでいきます。 ④ 趣旨を踏まえ表現を見直しました。
25. 歴史・文化財 (P55)	① 子どもの時から、交野の歴史・文化に触れるなど、子どもたちへの教育という視点での記載を検討してもらいたい。 ② 歴史文化の保存・活用に、「発掘・調査」の視点を盛り込んでもらいたい。	① 趣旨を踏まえ表現を見直しました。 ② 趣旨を踏まえ表現を見直しました。

6. その他の指摘事項について

政策分野	指摘事項	対 応
その他	<p>① 様々な分野で、指導者・担い手の高齢化や減少に伴う人材の養成について記載されている。市民団体の手を借りるなどの手法も必要では。</p> <p>② 政策分野は「まちづくりの目標」に紐づいているが、いくつか違和感があり、最終的な見直しが必要ではないか。例えば、まちづくりの目標4に「上水道・下水道」が記載されていること、まちづくりの目標5にペットやし尿処理が記載されていることなど。</p> <p>③ 指標について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 指標について、「防災」は個人の努力、「暮らしの安全・安心」は個人の努力と行政の評価。質問内容にバランスの配慮が必要である。「コミュニティ」は価値判断になるため聞くことに疑問がある。</li> <li>✓ 施策の「●」単位で指標を設定するのが、市民にとって一番分かりやすいのではないか。</li> </ul>	<p>① 様々な分野において、それぞれの施策の特性に応じた協働が検討されるものと考えています。</p> <p>② 全体的な確認を行ったうえで、し尿部分について位置づけを見直しました。(政策分野21へ移動)</p> <p>③ 趣旨を踏まえ、全体的に指標を見直しました。</p>